次世代空モビリティひょうご会議 瀬戸内分科会

関西での空飛ぶクルマ商用運航に向けた取組み

2026年10月15日

株式会社Soracle

(Xはじめました、フォローお願いします！：@SCL_official_JP)

Strictly Confidential

株式会社Soracleについて

eVTOL（空飛ぶクルマ）の特性を活かした新しい空のインフラを構築し、
既存の輸送方法では対応できない社会課題解決を図り、経済的価値創造を行います。



2024年6月、日本航空と住友商事により共同設立（折半出資、CEO（住商）・COO（JAL）出向）

日本初のeVTOLによる航空運送事業会社を目指し、両社と連携して推進

Sumitomo Corporation　JAPAN AIRLINES

社会的価値創造

eVTOLの特性

電動　自動　垂直離着陸

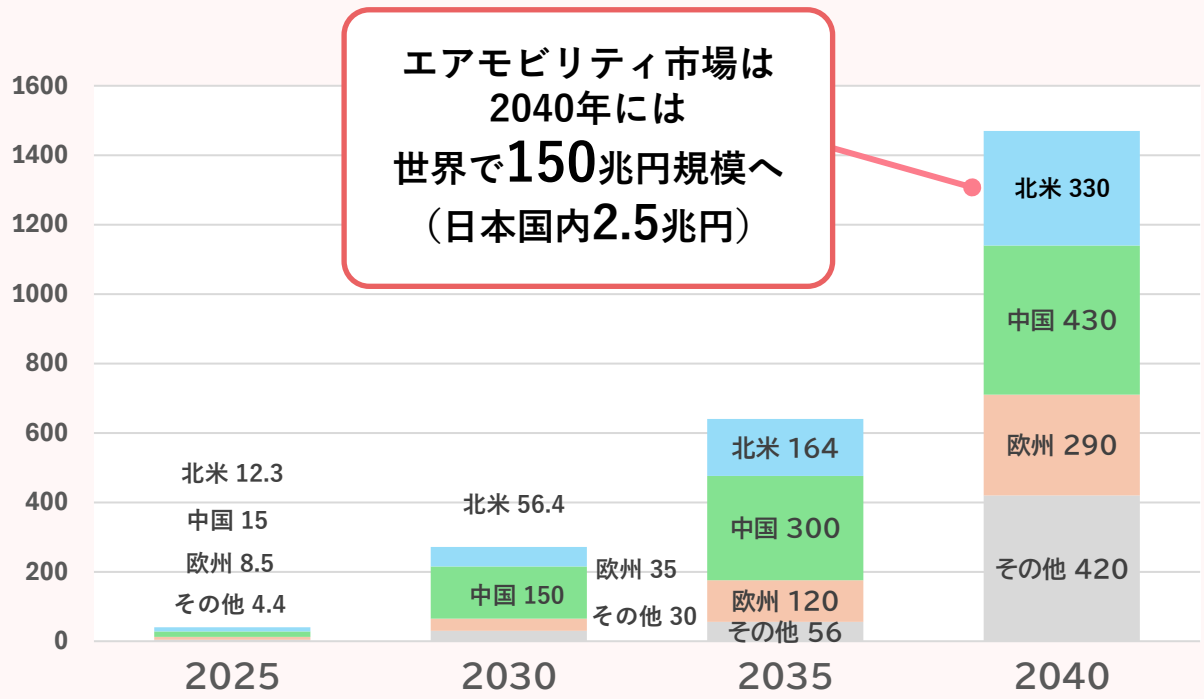
eVTOLへの期待

低環境負荷　低コスト　未利用空域活用（街なか・離島・遠隔地）

身近で新しい空の移動価値の創造

脱炭素貢献・労働力不足対応・多様なアクセス構築
地域経済発展・緊急医療迅速化・災害対応強化

経済的価値創造



出典：モルガン・スタンレーの市場予測値nedo.go.jpdrone-journal.impress.co.jp、
2026年１月 内閣府 日本成長戦略会議（経済産業省・国土交通省提出資料）参照

空飛ぶクルマに期待されるユースケース例

eVTOL（空飛ぶクルマ）の特性を活かした新しい空のインフラを構築し、
既存の輸送方法では対応できない社会課題解決を図り、経済的価値創造を行います。

エアタクシー

身近で新しい移動方法へ

都市の高層ビルを結ぶルートや、空港・主要駅との
アクセス手段として、圧倒的に早く・快適な空の移動を
実現します。



観光・レジャー

移動そのものを観光体験に変える

海や山、歴史的な街並みなど、地上からは味わえない
特別な景色を空から楽しむ遊覧飛行や快適な移動で、
観光に新たな付加価値をもたらします。

医療・救急

命をつなぐ空のルート

救急搬送の迅速化や、山間部・離島など救急車が到達しづらい場所への
アクセス改善においても、空飛ぶクルマは力を発揮します。
より柔軟で効率的な医療搬送体制の構築を検討します。

災害時の支援

道なき被災地へ空からアクセス

地震や台風などで道路が寸断された際にも、空飛ぶクルマは上空から
人命救助や物資輸送を担うことができます。
復旧活動や支援のスピードを高め、災害時の対応力向上を目指します。

Soracleが目指す展開ステップ

Phase 1
2025-28

●準備・市場参入期
eVTOLへの社会受容性向上を図る
機体型式認証/運送事業許可取得後、eVTOL運航先駆者となりアーリーアダプター取込みと制度設計への関与を図る

Phase 2
2028-29

●市場形成期
関西・瀬戸内海地方展開
VP事業者・デベロッパー・自治体等と連携し、需要の高い地点で**既存ヘリポートに加えVertiport路線開発**を図る



Phase 3
2029-31

●市場成長期
関西・瀬戸内海地域のネットワーク拡充、関東地方初期展開
機体の量産に伴う価格低下による、収益力強化



Phase 4
2031-

●更なる拡大
地域ネットワークモデルの更なる拡充、 無操縦者航空機による**無人都市内エアタクシーの実現**
住友商事・JALの強みを生かした**海外展開**

Strictly Confidential

Soracleが目指す展開ステップ ｜ 関西地方初期展開

展開準備　ポイント：機体確保・社会受容性向上・自治体との連携・運航拠点確保

2025年





大阪・関西万博
Future Sky Experience
5,500名以上のお客様へ体験型展示
そらクルーズ 未来の空の旅を表現

大阪府 ・大阪市 との連携協定

2026-27年



大阪府市域内 実証フライト
機体運用検証
輸送・充電知見の蓄積
ユースケース検証

航空運送事業許可取得に向けた申請
大阪メトロ・小川航空（大阪ヘリポート）・関経連との連携

2028年以降



*「大阪」は初期フェーズ湾岸エリアを想定

航空運送事業許可取得（見込）

商用運航開始
大阪・関西に実装
初期フェーズ 湾岸エリア
遊覧運航・二地点間運航

Strictly Confidential

Soracleが目指す展開ステップ　｜機体確保

Soracle、米Archer社と戦略的関係構築に向けた基本合意書を締結



Soracleは、米Archer社と戦略的関係構築に向けた基本合意書を締結し、**eVTOLの商用運航実現に向けた協業**の検討を開始することに合意しました。

Archer社との基本合意書には同社が開発・製造するeVTOL ”Midnight”の最大100機の**購入権取得**を含んでおり、eVTOL社会実装の早期実現に向けた準備を加速して参ります。



Strictly Confidential

Archer社の米国での取組

2028年ロス五輪公式エアタクシーパートナー



- ✓ Archer社はLA28オリパラ大会、及び、米国選手団の公式エアタクシープロバイダーに選定
- ✓ Archer社のeVTOLでVIP、観客、関係者輸送を計画

米国大統領令 eVTOL統合パイロットプログラム（eIPP）



- ✓ Archer社はテキサス・フロリダ・ニューヨーク州と連携し、米国運輸省・航空局の試験運用プログラムに選出
- ✓ 型式証明取得前でも実際の都市・地域で試験運航を行い、安全性や運用データを収集し、将来の規制整備へ活用

Soracleが目指す展開ステップ ｜ 万博出展

大阪・関西万博および
その後の社会実装に向けた取組みについて

大阪・関西万博でArcher社Midnightをアジア・日本で初めて
実寸大モデル機体・試験飛行映像・将来運航イメージを展示。

【イベント名】 **Future Sky Experience**
【期間】 **2025年7月8日～15日**
【期間】 **万博会場内 Vertiport / 格納庫**

8日間で5,514名のお客様が来場・体験
「空飛ぶクルマ」に対する関心度の高さ
社会受容性 向上に寄与



Strictly Confidential

Soracleが目指す展開ステップ ｜ 万博出展













Strictly Confidential

Soracleが目指す展開ステップ ｜ 大阪府市との連携協定





（左から）吉村洋文大阪府知事、日本航空 宮坂久美子西日本支社長、
Soracle 佐々木敏宏代表取締役、同 太田幸宏代表取締役、
住友商事 髙島恭一郎関西支社副支社長、横山英幸大阪市長

2025年9月10日 連携協定締結

(1) 大阪を中心とする関西地域の空飛ぶクルマの運航ネットワーク形成に関する事項
(2) 空飛ぶクルマ関連ビジネスのワンストップ型展開支援に関する事項
(3) 救急医療、災害時における支援等に関する事項
(4) その他、この協定の目的に資する事項

Strictly Confidential

Soracleが目指す展開ステップ ｜ 大阪湾 運航拠点・整備基地 準備

運航拠点｜大阪港バーティポート

2026年3月7日 大阪メトロ様と基本合意書締結





・大阪港VPを運航拠点として、必要な施設・設備を共同検討
・社会受容性向上施策の共同開催（3/8-25イベントご来場5,000名以上）

整備基地｜大阪ヘリポート

2026年3月16日 小川航空様と格納庫賃貸借契約





・大阪ヘリポートの格納庫を整備基地として契約締結
・大阪港VPの緊急着陸地点としても重要な基地

初期フェーズの遂行に向けて｜大阪メトロとの共同施策

空クルラボ特別企画 そらクルーズ@大阪港VP

（2026年3月8日～3月25日）

- イマーシブシアター「そらクルーズ」を大阪港バーティポートに開設
- 期間中5,000名以上の予約
- Soracle 公式X フォロワー1,000名突破



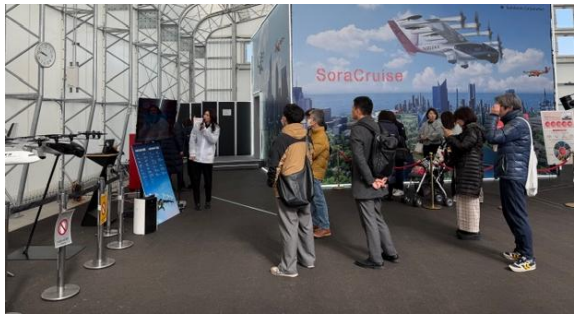
3月7日メディアデー Osaka Metroとの基本合意書締結式



3月7日メディアデー そらクルーズ@大阪港VPお披露目式



3月17日 吉村知事、横山市長がご来場



空飛ぶクルマの解説も実施



Soracleグッズの物販を初めて実施

Soracleが目指す展開ステップ｜ 関係者との協業 深化

地域関係者｜関西経済連合会

2026年6月16日 関経連様と連携協定

Soracle　公益社団法人 関西経済連合会

（共同リリース）

2026 年 6 月 30 日
株式会社 Soracle
公益社団法人 関西経済連合会

Soracle と関西経済連合会が空飛ぶクルマの関西における
社会実装の実現に向けた連携協定を締結
～相互連携と協働により、関西での空飛ぶクルマの社会実装の早期実現に向けた活動を推進～

株式会社 Soracle（以下、Soracle）と公益社団法人関西経済連合会（以下、関経連）は、両者による相互連携と協働による活動を推進し、関西における空飛ぶクルマの社会実装を早期に実現することを目的として、空飛ぶクルマの関西における社会実装に向けた連携協定（以下、本協定）を 2026 年 6 月 16 日（火曜日）に締結しました。



（左から）Soracle 佐々木敏宏 代表取締役、関経連 久米一郎 常務理事・産業部長、Soracle 太田幸宏 代表取締役

- 関西地域での初期運航ネットワーク形成
- 関西地域での空飛ぶクルマに関するエコシステム形成

機体型式認証｜Archer/JCAB

2026年8月21日 Archer社Midnight JCABへの型式認証申請 受理



- 本邦での運航に必要な型式証明をJCABへ申請開始
- 日本で5例目の空飛ぶクルマの型式証明申請

Soracleが目指す展開ステップ｜ 兵庫県における取り組み

事業化準備｜運用マニュアル整備

令和8年度 兵庫県「空飛ぶクルマ事業化準備事業」に採択
各種法定規程、運用マニュアル整備

■令和8年度の取り組み

① 航空運送事業開始に向けた規程の概成
② 神戸空港特有の個別運用マニュアル作成
③ 空港での商用運航に際してのリスク分析

■実施体制

＜代表事業者（申請者）＞

- 株式会社Soracle

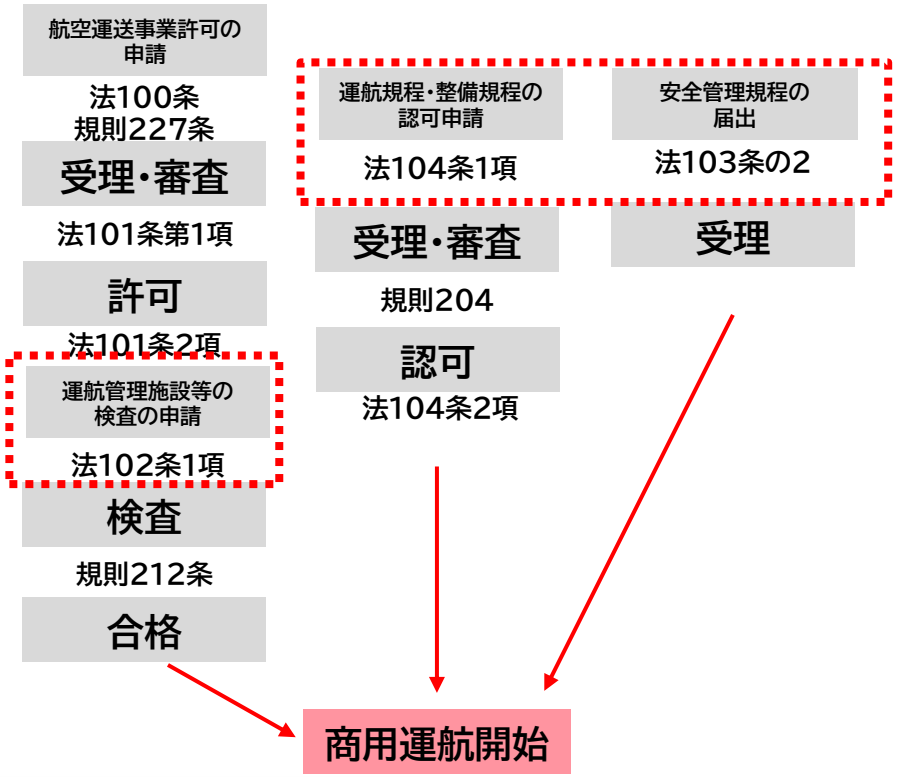
＜共同事業者＞

- 関西電力株式会社

＜協力事業者＞

- 東京海上日動火災保険株式会社

航空法における商用運航に向けたプロセス



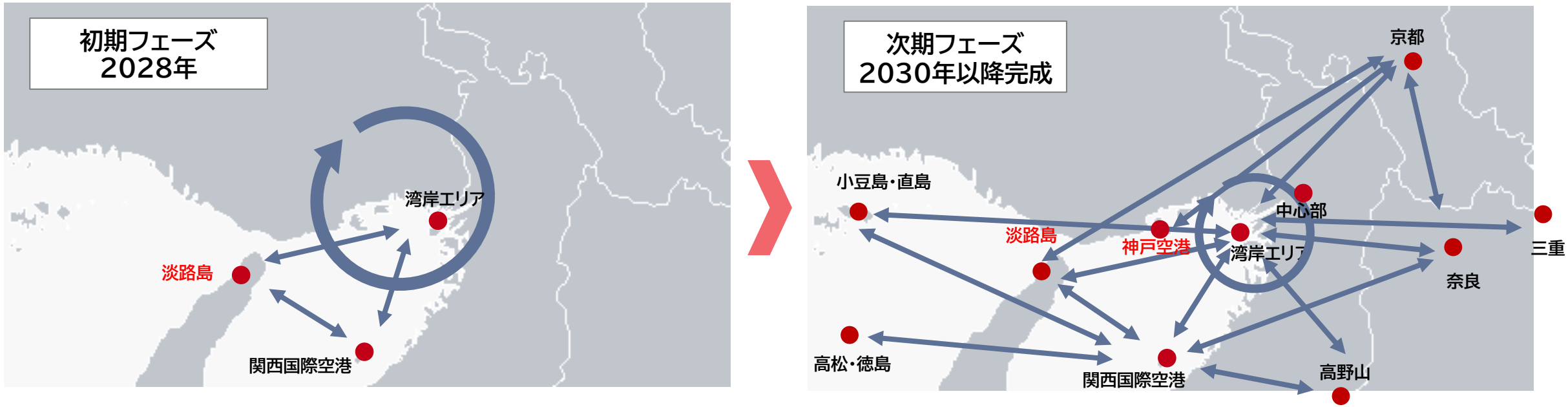




Soracleが目指す展開ステップ

展開イメージ

2028年度以降、湾岸エリアから遊覧運航に加え、2地点間運航を徐々に拡大。
空飛ぶクルマの全国でも先行した実装を行うとともに、結果として来訪者増加、地域経済発展、雇用創出につなげたい。



展開イメージ

①湾岸エリア・淡路島・大阪城 観光遊覧
②湾岸エリア・淡路島・関西空港 トライアングル運航

関西空港/神戸空港 ⇔ 湾岸エリア 直行便・中心部・地域主要地点
湾岸エリア・主要地点 ⇔ 地域主要地点

※地域主要地点：大阪中心部・京都・奈良・淡路島・小豆島・直島・高野山・四国・三重

Strictly Confidential